

日本共産党

お困いごとには直ぐ こだえる

国民の苦難軽減が立党の精神

消火栓の蓋が

うるさい

石動町

「車が通るたびに『ガターン』、『ガターン』と大きな音がなる。夜中でもびつくりして目を覚ます。こんな相談が7月中旬に、石動町のある方から共産党の女性・新人に寄せられました。」

連絡を受けた砂田市議はさっそく現地を確認すると、消火栓の蓋の上を自動車通過するたびに大きな音がしていました。すぐに小矢部消防署と市総務課に調査と改善を求めました。現地を確認した消防署は消火栓の蓋の下にゴムのパッキンをかませ、音が出なくなるようにしました。その後、現地の様子を確認に行くところ、車が通っても音がせず、相談を寄せられた方は、素早い対応に感謝しておられました。(写真)



道路がへこんで

ドリフトと衝撃

西福町

「石動信用金庫福町支店のT字路交差点付近で、路面が下がっていて車で走るとドシンと衝撃を受ける」との相談が共産党に寄せられました。

砂田市議は現地の様子を確認して、市都市建設課に対処を求めました。市は5センチの凹みがあることを確認し、近日中に補修すると、砂田市議に報告しました。さらに市は、その後様子を見て、さらに下がるようなら、アスファルトを切りとって、下から改修しなければならぬか、検討することです。

世論と運動で政治を動かす

女性の願いを掲げ

宣伝行動

日本共産党女性後援会は7月30日、シヨッピングセンター前で、女性の願いを掲げ、宣伝行動をしました。市民の世論と運動が政治を動かします。掲げたスローガンは「おいしい給食を無料に」と「学校統廃合に反対します」。少人数数学級の推進を「です。」

おいしい給食を無料に

子ども食堂に取り組んだ人々からは、「学校給食は子どもたちにおいてと評判です。給食を楽しみに学校へ来ている子どももいます。」「満足に食事を取れない家庭もあり、給食が子どもの成長を支えている」、「子ども一人の給食は月5千円前後、2人いると1万円にもなり、大変です。」などの声が寄せられています。

日本共産党は憲法26条の「義務教育は無償」の対象に学校給食も含めるよう求めて運動しています。世論を盛り上げて、ぜひ実現したいものです。(写真・左)



学校統廃合に反対

少人数数学級の推進を

東部小学校校下の住民や保護者の皆さんと力をあわせて、東部小学校の存続を求めて運動しています。100名前後の規模の小学校が一番理想的な学校だと、全世界で認定されています。

一人一人の子どもたちの様子が学校教職員全員で共有でき、それぞれの子どもたちの良さを見つけ、成長を助けることができるからです。



市小中学校統廃合審議会の答申では、東部小学校を石動小学校に統廃合し、津沢と蟹谷の2つの小学校、および2中学校を統合し、津沢と蟹谷にそれぞれ統廃合小学校か統合中学校を設置することを答申しています。無理な統廃合をするとう長時間通学バスで子どもたちが疲弊します。

日本共産党は少人数数学級にすることで、学校統廃合をしないように求められています。(写真・右)



週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2022. 8. 7 通巻No.1569

日本共産党 小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



前参議院議員
たけだ良介

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しん 赤旗
ぶん

日刊 3497円
日曜版 930円

禁断転載
複写配布